令和元年度重要サンゴ群集モニタリング調査報告書

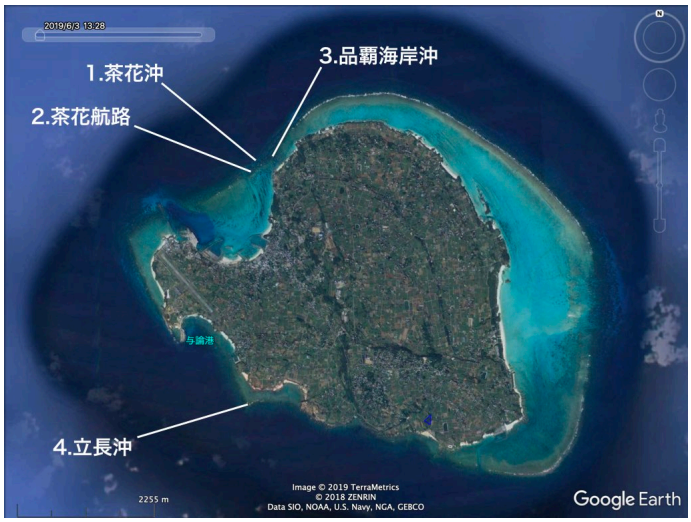
奄美群島サンゴ礁保全対策協議会

１．目的

平成 29 年（2017 年）の本調査業務により、与論島の茶花沖礁原では 300m にわたり特に被度の高い海域があり、優占する卓状ミドリイシサンゴ群体も健全な状態で、すでにシュノーケリング等に活用されており、観光資源として重要であることが明らかとなった。しかしながら、与論島に平成 30 年 9 月 29 日接近した台風 24 号、平成 30 年 10 月 4 日接近した台風 25 号による高波の影響で、与論島西部のサンゴ群集の破損が懸念されていたため、本調査業務では、与論島の重要サンゴ群集を再調査し、サンゴ群集の現況を把握し、保全に資する事を目的とした。

２．調査海域

与論島の重要サンゴ群集海域４地点



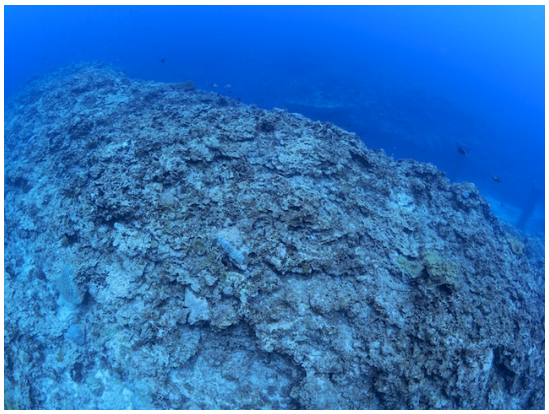
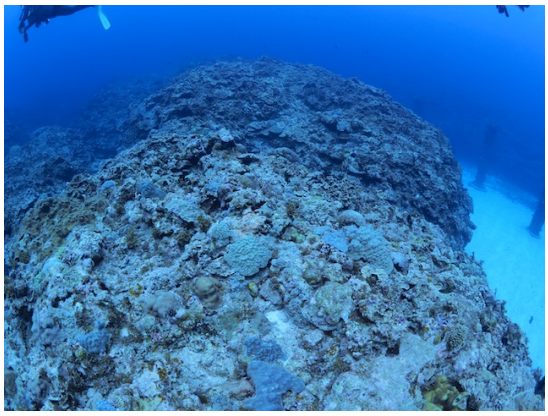
３．調査結果

与論島北西部に位置する茶花沖の礁斜面では、2017 年の調査時には、葉状のリュウキュウキッカサンゴ小群落や樹枝状の枝イボサンゴが多くみられたが、本調査時には、2018 年の台風による破損で、それらは激減しており、被度も 50%から 25%と半減していた。2017 年調査時に、被度が 95%と高く、直径 1m 超の大型卓状ミドリイシが優占していた茶花航路の礁原では、2018 年の白化によると思われる死滅があり、被度は 95%から 80%と減少していた。隣接する品覇海岸沖の礁原においても、2018 年の白化によると思われる死滅があり、被度は、60%から 50%へと減少した。与論島南西部に位置する立長沖の離礁では、2018 年の台風による破損で、被度は 20%から 10%へと減少した。

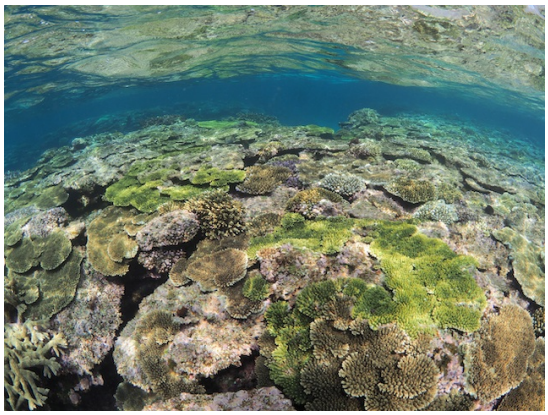
茶花沖の礁斜面では、台風によるうねりで海底の砂が抉られ、観光資源として設置しているコンクリート製の海中宮殿構造物の基部が露わになっていたことから、より深い海域では、台風の影響が大きかったと考えられるが、礁原では、台風よりも 2018 年の白化の影響を受けた可能性が高いと思われる。

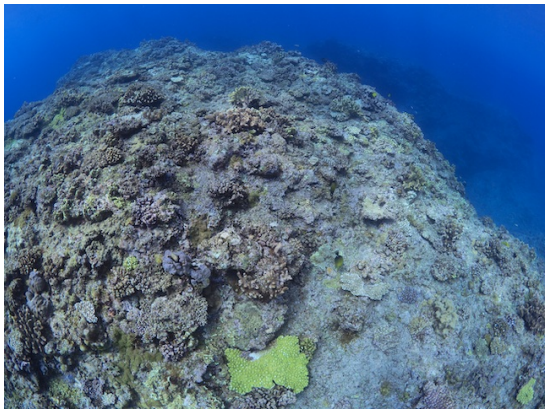
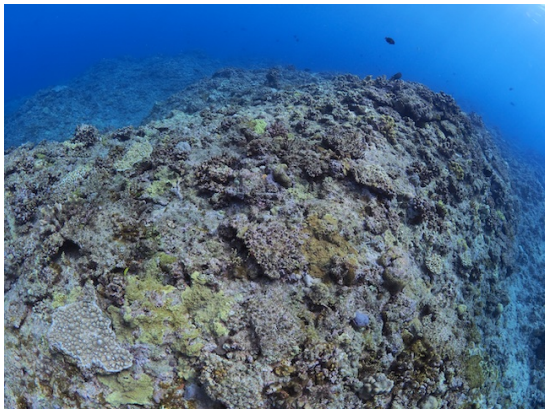
	調査地点	被度変化 2017年→2019年	特記事項
1	茶花沖 （礁斜面）	50%→25%	茶花沖のダイビングスポット。2017年8月25日の調査時には、礁斜面上に葉状のリュウキュウキッカサンゴ小群落や樹枝状の枝イボサンゴが多くみられたが、本調査時には、それらは激減しており、被度も半減していた。2018年台風による影響があったと思われる。海中宮殿が設置されている礁溝の砂地の砂が 50cm 以上減っており、大きなうねりが入った可能性が高い。本調査時には、破損群体や白化群体はみられず、台風による影響が軽微であったと思われる塊状のサンゴ群体や小型ミドリイシ群体も多く生存しており、撹乱を受けた印象は少なくなっていた。 （調査日：2019年6月3日）
2	茶花航路 （礁原）	95%→80%	茶花港沖の航路（漁港）西側の礁原。約300mに渡り広範囲に生サンゴ被度が高く、礁原上にナンヨウミドリイシ等の卓状ミドリイシ属群体およびトゲスギミドリイシ等の樹枝状ミドリイシ群体が連なる。特に卓状ミドリイシは1m超の大型群体も多く優れた水中景観を有する。シュノーケリング等に利用されており、観光資源としても重要。フィンキック等による破損がないように利用マナーの周知が必要。2017年8月25日の調査時には、全体の10%の群体が白化していた。本調査では、台風による破損等はみられなかったが、白化で死亡したと思われる破損のないサンゴ群体の骨格が散見できた。この海域では、2018年台風による破損ではなく2017年秋期の白化による死滅があったことが示唆された。 （調査日：2019年6月3日）
3	品覇海岸沖 （礁原）	60%→50%	調査地点の茶花航路から西へと連なる品覇海岸沖合の礁原。礁原上は被度が高いが、西へ行くほど被度は低下する。付着藻類がやや多い。多少濁りもあり、陸水の影響を受けている可能性もある。直径1m超の卓状ミドリイシも散見できる。2017年8月26日の調査時には全体の10%の群体が白化していた。本調査では、台風による破損等はみられなかったが、白化で死亡したと思われる破損のないサンゴ群体の骨格が散見できた。この海域では、2018年台風による破損ではなく2017年秋期の白化による死滅があったことが示唆された。 （調査日：2019年6月3日）
4	立長沖 （離礁）	20%→10%	立長地先ダイビングポイント「長崎の塔」浅所の離礁。水深1～5mの離礁上部にハヤヤサイサンゴ、直径10～30cmの指状ミドリイシ群体がみられる。波当たりが強く、骨格のしっかりしたサンゴが多く、大型群体はみられない。2017年8月25日調査時には、白化群体はみられなかったが、本調査時には最近死滅したと思われるサンゴ群体の骨格が散見された。2018年の台風により被度が半減した可能性が高い。 （調査日：2019年6月4日）

1．茶花沖（被度 25%）調査日:2019 年 6 月 3 日

2．茶花航路（被度 80%）調査日:2019 年 6 月 3 日



3．品覇海岸沖（被度 50%）調査日:2019 年 6 月 3 日

4．立長沖（被度 10%）調査日:2019 年 6 月 4 日